

大正区将来ビジョン2025を策定しました



計画の期間 2023年度から2025年度



『大正区将来ビジョン2025』は、区長が区政を預かる立場として、大正区が抱えるさまざまな課題に対してどのように対応し、どのような大正区をめざしているかを区民の皆さまに明らかにするものです。古川区長の任期4年を踏まえ、2023年度から2025年度までの3カ年の計画としています。

めざすべき将来像

人や文化が多様性に富み、幅広い世代が支え合いながら共に生きる「ホッとなまち大正」

ものづくりのまちの歴史や、地域で助け合って生きる人々のエネルギーを基礎に

- ◆安全・安心で、こどもの未来が輝き、愛着をもって住み続けられる、持続可能なまちをめざします
- ◆まちのポテンシャル(潜在価値)を活かし、新たなにぎわいと魅力を創り出すことにも挑戦します

将来像を実現する4つの柱

1 健康で安心して暮らせるまち「大正」

- 「大正区地域福祉ビジョン」に基づく福祉の推進
- 地域包括ケアなど総合的な相談支援体制構築
- 健診の受診率向上など健康寿命を伸ばす取組
- 自立相談支援窓口を通じた生活困窮者支援等
- 「4区合同人権展」など人権の尊重への取組

2 地域で支えあう安全なまち「大正」

- 津波啓発や個別避難計画作成などによる「自助」「共助」の推進
- 地域防災力の向上にかかる「公助」の充実
- 防犯パトロールなど地域安全防犯対策
- 特定空家等の通報、相談窓口など空家対策

3 こどもの未来が輝くまち「大正」

- 保育所等と連携し、課題のあるこどもや家庭に寄り添い、支援につなぐ「就学前(4・5歳児)こどもサポートネット事業」
- 「こどもサポートネット事業」において、学習や登校の支援が必要とされた児童・生徒に対する「学習・登校サポート事業」

4 にぎわいと魅力あふれるまち「大正」

- エリア価値向上のためのマルシェやまち歩き
- 「タグポート大正」等の拠点を活かした魅力発信
- ものづくり企業との連携による活性化

4つの柱を支える共通の取組

- ・地域まちづくり実行委員会の活性化
- ・地域活動の活性化
- ・区政会議、区民意識調査など区民ニーズの把握
- ・情報発信・伝達力の強化
- ・行政デジタル化の推進による区民サービスの向上
- ・区役所職員のスキル向上

詳しくは区ホームページをご確認ください。

問合せ 庶務 5階50番 ☎4394-9975



令和5年度大正区関連予算

上記「ビジョン」に基づき、着実に区政を推進するための令和5年度大正区予算が決定しました。

重点的に取り組む事業

学習・登校サポート事業 (17,811千円)

- ▶学校の授業以外に学習機会の少ない生活困窮家庭やひとり親家庭、不登校や病気による長期欠席等により学習機会を逃した児童・生徒を対象に、学習や登校支援を実施します。 **区独自**
- ▶中学生を対象に、学校でも家庭でもない「居場所」を区役所内に設置し、きめ細かいサポートを行うなかで、一人ひとりの状況等に応じた必要な支援につなぎます。 **新規 区独自**



就学前(4・5歳児)こどもサポートネット事業 (7,940千円) (大正区版ネウボラ)

- ▶大正区内の保育施設等を利用している4・5歳児を対象に施設等を訪問し、こどもの状況把握やアセスメントの実施等を行い、課題のあるケースに必要な支援につなげることで、重大な児童虐待ゼロをめざします。 **区独自**



コミュニティ育成事業 (6,470千円)

- ▶地域コミュニティの充実を図り、コミュニティ同士のつながりを一層強めることで、持続可能な活力ある地域社会を構築し、愛着をもって住み続けられる大正区としていくため、「区民まつり」やスポーツ事業を実施します。



地域防災対策事業 (5,149千円)

- ▶区民の防災意識の向上や、地区防災計画に基づく自主防災組織の体制整備など、地域コミュニティの災害対応力の強化により「自助」「共助」の意識を高めるとともに、「公助」によるサポートの拡充に取り組みます。



エリア価値の向上に向けた地域活性化事業 (1,562千円)

- ▶地域資源である千鳥公園(昭和山)を活用し、にぎわいと魅力を創出する実証実験を行うなかで、大正区エリアの価値を向上させ、持続可能なまちをめざすため、引き続きマルシェやまち歩きを開催します。 **区独自**



問合せ 庶務 5階50番 ☎4394-9625



令和5年度 大正区関連予算

878,206千円

区長自由経費(※1) 324,124千円

区CM自由経費(※2) 554,082千円

※1 区長自由経費とは、区長の権限により区役所が実施する事業予算です。

※2 区シティマネージャー(区CM)自由経費とは、区長の権限により局が実施する事業予算です。

『大正区将来ビジョン2025』を実行し、さらに「ホッとなまち大正」へ

大正区長の古川です。この4月1日で区長着任から丸2年、任期4年の折り返し点に立ちました。昨年10月に区政90周年を迎えたのちは、コロナ禍も幸い収束が見えて、今やウィズ・コロナの新たな時代に入っています。区民の皆さまもマスクを外す機会が増え、久しぶりに深呼吸のできる穏やかな春をお迎えのことと存じます。



このたび大正区役所では、区民や区政会議委員の皆さまからご意見をいただきながら、職員の総力をあげて『大正区将来ビジョン2025』を取りまとめました。2025年は大阪・関西万博の開催年であり、国連のSDGsがめざす持続可能な社会を実現するため、大阪や日本が大きく行動する年です。大正区政もまずはそこへ向かって、小さくとも着実な一歩を踏み出してまいります。

区民が誇りにしてきたものづくりの歴史や、声を掛け合って生きる人情にあふれた地域性。そんな大正区の“ええとこ”はずっと残し、“弱いとこ”をぐんと伸ばしていく。このビジョンを軸に、区民の皆さまが必要とする施策を着実に実行し、さらに「ホッとなまち」をめざします。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。